

1. 企画推進プロジェクトチーム

DX推進にあたって、本市が独自に取り組むべき事項を検討するため、石巻市DX推進本部のワーキンググループとして、令和4年3月に設置された。

- ・ 関係法律やDXについての理解を深める研修の実施
- ・ チャットツールを活用した会議の実施
- ・ 先進事例や最新のデジタル技術に関する視察の実施

2. プロジェクトチーム会議

- 職員が減る中で、職員の事務負担を減らさなければ、市民サービスの利便性向上のために新しいことを考え、取り組んでいくことは難しいのではないか。
- 職員が何に負担を感じているのか、何が業務効率化の障害になっているのかを把握する必要がある。

➔ **職員アンケート調査の実施**

3. 職員アンケート調査結果（抜粋）

Q7 市役所の既存の「ルールや仕事の仕組」が変われば、もっと効率的に業務を行うことができますか？

- 回答した**職員の75%**が「**非常にそう思う**」または「**そう思う**」と回答
- 若い世代の職員より40代、50代の職員ほどそのように感じている割合が高い傾向

4. 検討が必要な取組

① デジタル技術の活用等に関する取組

市民の利便性向上や職員が抱える課題の解決につながる取組を検討していかなければならない。

- 【取組例】
- ・ 文書管理のデジタル化
 - ・ 職員間の効率的なコミュニケーションのためのツール導入

② ルール整備や職員のリテラシー向上に関する取組

①の取組を実現していくための条例等の必要なルール整備の検討と整備したルール等を職員が習得するための環境構築について検討していかなければならない。

- 【取組例】
- ・ 内部手続に関する押印の廃止
 - ・ ICTやセキュリティ等リテラシー向上に向けた職員研修

③ 組織や人員体制の強化に関する取組

①、②の取組を実現していくため、実務面での推進体制の構築・強化について検討していかなければならない。

- 【取組例】
- ・ 全庁的な調整、検討を行う部署の設置
 - ・ 情報担当部門の体制強化

5. 調査及び研究結果（まとめ）

- ✓ 職員定員適正化計画により**職員数が減少していく中で、デジタル技術を活用し、業務を効率化させていくことは必須**
- ✓ 求められるのは、旧来のルールや仕組を拠り所とできない理由の説明ではなく、**旧来のルールや仕組を変えてでも実現しようとする職員の意識変革**
- ✓ **DXは組織変革**であり、その**推進には大きな覚悟が必要**